

## 環境報告書 2017 年度

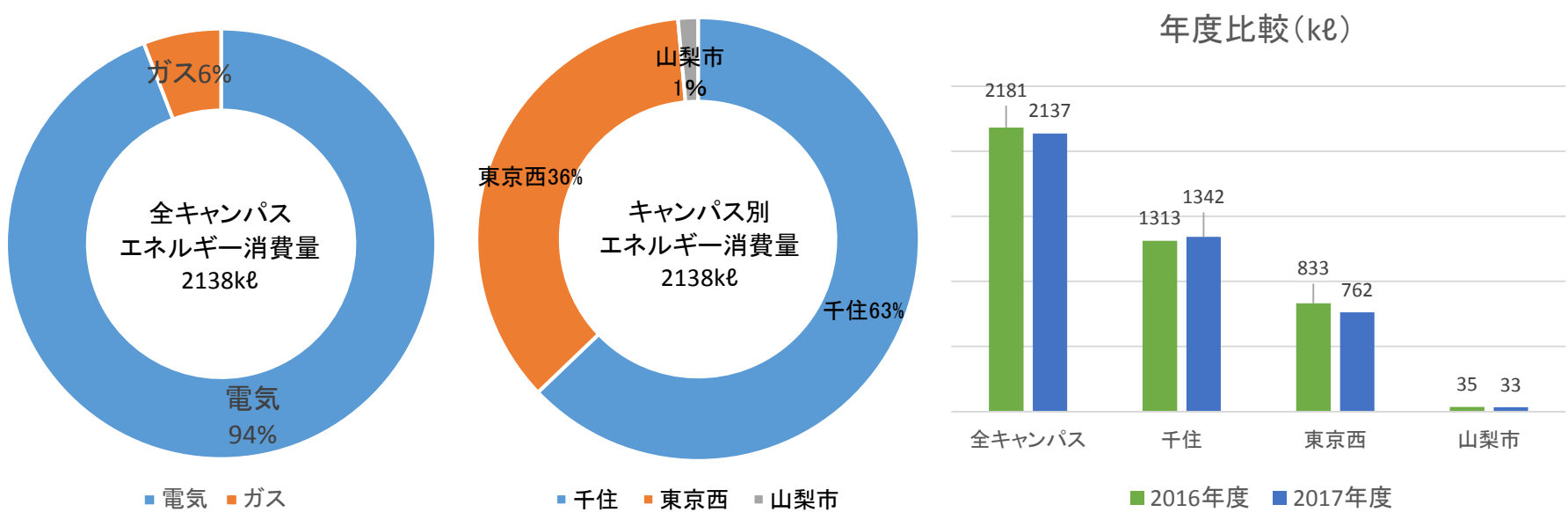
### ◆環境方針

本学は、「生命・環境」「医療」「子ども」の三つをキーワードとして先端科学技術の教育・研究を推進し、21世紀の世界の持続的発展に貢献することを使命としている。環境問題が本学の教育・研究の課題の重要な一つであることから、環境への負荷の少ない、自然と調和したキャンパスの実現に努力すべきことは本学としての当然の責務であると考えます。

このため、本学は、全学的に環境マネジメントシステム（EMS）を構築し、全学を挙げた継続的努力によりエコ・キャンパスの実現を期するとともに、以下の活動を通じて、地球環境の保全・改善に貢献することを目指す。

1. 教育活動、啓発活動を通じて地球環境の保全・改善に貢献するとともに、本学の教職員、学生、関係のある業者その他キャンパス内の全ての者に「環境を守る」という目的意識を持つよう求める。
2. 教育・研究等の諸活動において、環境に関連する法令、学内規則等を順守する。
3. 省資源・省エネルギー、化学物質の安全管理に取組み環境への負荷を低減するよう努める。
4. 環境目的及び目標を設けてその実現を図り、定期的に見直し環境マネジメントシステムの継続的改善に努める

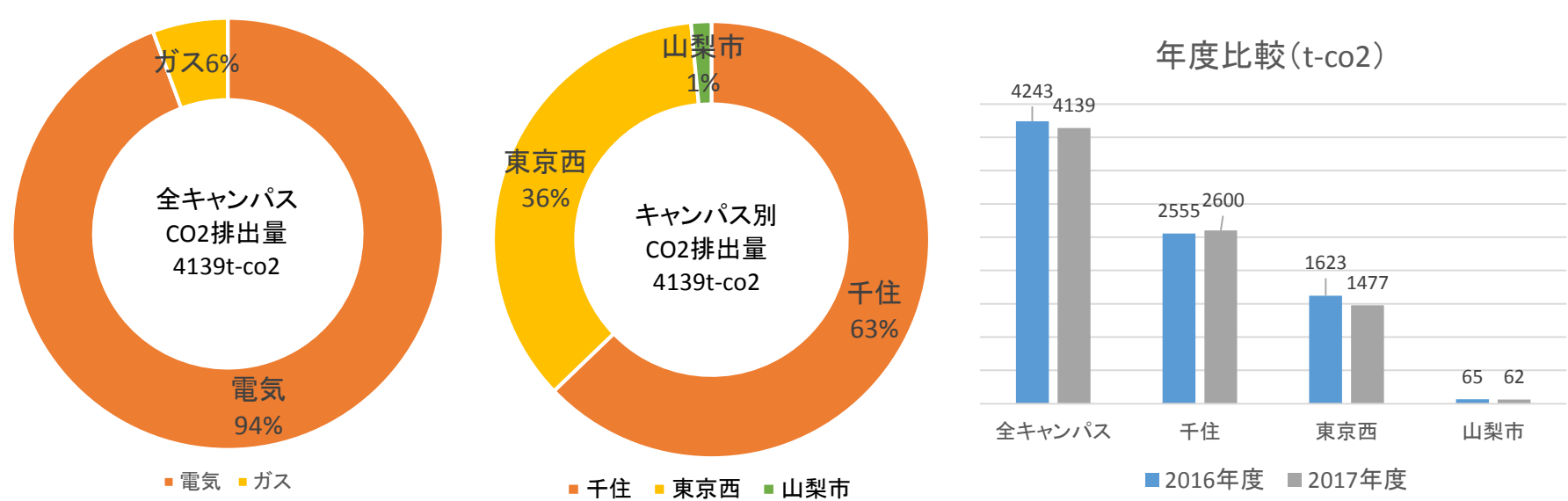
### ◆2017 年度エネルギー消費量（INPUT）



2017 年度のエネルギー消費量は、2138kℓでした。前年度のエネルギー消費量が 2181kℓとなるので、前年度と比較して 2%の削減となりました。削減の要因としては、東京西キャンパスにおいて 2017 年度より、キャンパス内の建物照明を順次 LED 化を進めていることが挙げられ、東京西キャンパスだけで前年度と比較して 9.3%の削減となりました。千住キャンパスについては、前年度と比較して 2.2%増加しており、夏の猛暑の影響が要因として挙げられます。

エネルギーの種類別にみると、電気が全体の 94%を占めており、残りの 6%をガスが占めております。また、キャンパス別に消費量をみると、千住キャンパスが全体の 63%、ついで東京西キャンパスが 36%、残りの 1%が山梨市キャンパスという内訳となっています。

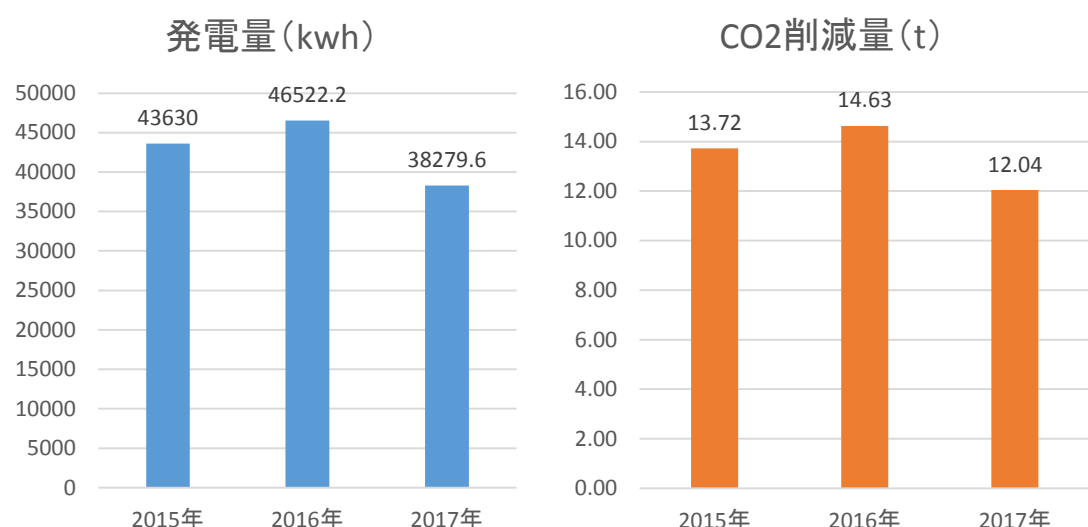
### ◆2017 年度 CO2 排出量（OUTPUT）



2017 年度の CO2 排出量は、4139t-co2 でした。前年度の CO2 排出量が 4243t-co2 となるので、前年度と比較して 2.5%の削減となりました。削減要因はエネルギー消費量と同様となっております。

エネルギーの種類別にみると、電気が全体の94%を占めており、残りの6%をガスが占めております。また、キャンパス別に消費量をみると、千住キャンパスが全体の63%、ついで東京西キャンパスが36%、残りの1%が山梨市キャンパスという内訳となっています。

◆再生可能エネルギー発電量



千住キャンパス7号館の屋上に、太陽光パネルが設置されています。太陽光パネルのサイズは、24m×42mで7号館屋上面積のおよそ1/3を占めています。2017年度の太陽光発電量は、38279.6kWhとなっており、設置されている7号館の電気使用量のおよそ2%を発電しています。

◆環境教育

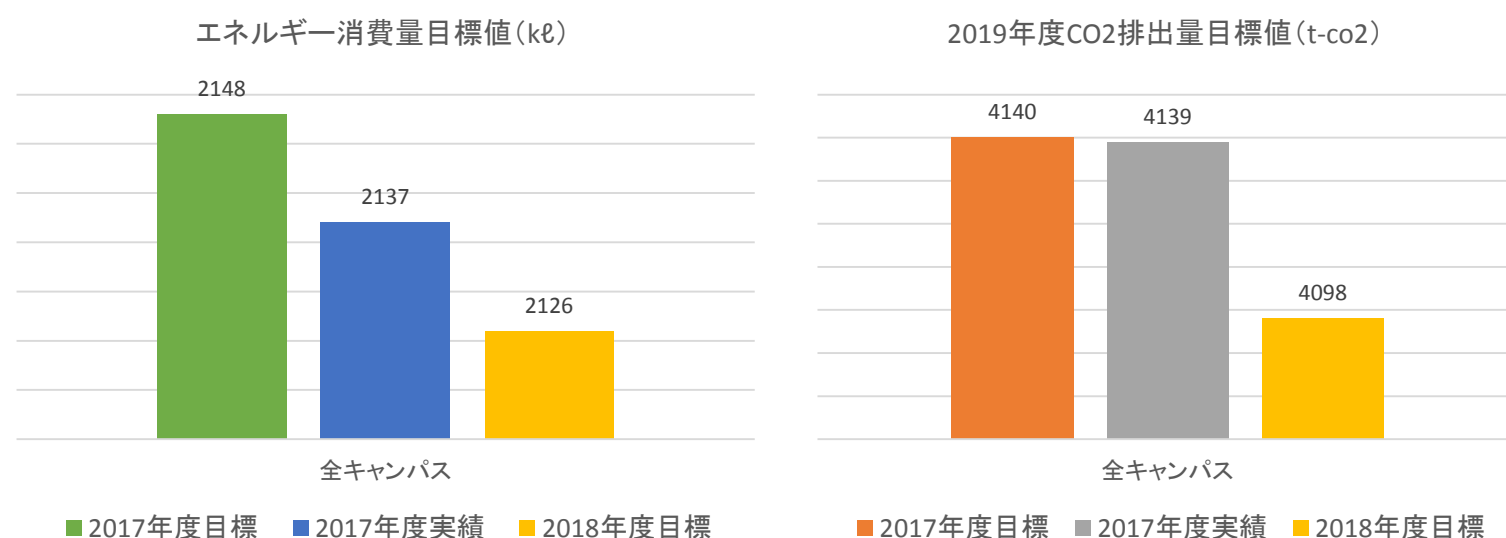
1年次については、新入生オリエンテーションにおいて初めての環境教育として、本学のEMS活動の経緯、EMS活動の内容、EMS活動の重要性、学生に望むことなどについて実施し、2年次以降については、各学科のオリエンテーションにおいて、本学の環境方針、目的・目標、EMS活動の取組みなどについて実施をしました。

【環境アクション5カ条】

1. 不要な照明やOA機器の電源を切ろう
2. 過度な冷暖房を控えよう
3. 節水を心がけよう
4. ゴミの分別廃棄を徹底しよう
5. 駐車時のアイドリングストップを心がけよう



◆次年度の目標



2018年度の目標として、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき、本学においてのエネルギー消費量及びCO2排出量を前年度の目標値から1%削減をした値を目標とします。前年度の目標値から1%削減をした値をエネルギー消費量2126kℓ、CO2排出量を4098t-co2と決めました。目標値達成のために東京西キャンパスだけに限らず、千住キャンパス建物内の照明を、順次高効率照明(LED照明)へ変更を行っていきます。